

市制施行20周年記念



続 いまむかし みどり史

—風景からみる今昔—



絵はがき「上毛花輪藤瀧不動尊」
・大正時代後期～昭和時代初期




絵はがき「大間々町中央通り商店街」・昭和30年代





絵はがき「阿左美沼」・大正時代後期～昭和時代初期


令和8年 5月26日^火～6月28日^日

 **みどり市大間々博物館2階 企画展示室**

 みどり市大間々博物館（コノドント館）
〒376-0101 群馬県みどり市大間々町大間々1030
TEL. (0277) 73-4123 / FAX. (0277) 73-4145
URL <http://www.city.midori.gunma.jp/conodont>

 開館時間：午前9時～午後5時（入館は午後4時30分まで）
休館日：月曜日（祝日の場合は翌日）

 入館料：一般 200円 小・中学生 50円
幼児 無料（20名以上は団体割引あり）
※身体障害者手帳・療育手帳または精神障害者保健福祉手帳を
お持ちの方と、その介護者1名は無料
※みどり市内の小中学生は「4館フリーパスポート」の提示で無料

 交通案内
わたらせ渓谷鐵道大間々駅より徒歩5分
上毛電気鉄道赤城駅より徒歩15分
北関東自動車道太田藪塚インターより車で25分



HP



YouTube



続^{いまむかし}みどり史

—風景からみる今昔—



令和8年3月27日、みどり市は誕生から20周年を迎えました。これを記念し、写真や絵はがきといった風景から、市の歴史を辿る企画展を開催いたします。

江戸時代末期に伝来した写真技術は、明治時代から一般層へ普及しました。市内では、明治時代初期に大間々町3丁目付近をとらえた写真が最古のものだと考えられています。

また、明治33年に私製絵はがきの使用が認可されると、地方の小売店が独自に絵はがきを作成・販売するようになり、後に日本全体で絵はがきブームが巻き起こりました。ながめ余興場や高津戸峡など、みどり市内の名所も絵はがきの題材に用いられています。

本展では、市内各地でとられた写真や発行された絵はがきを中心に紹介します。みどり市の「これまで」と「これから」に思いを馳せる機会となりましたら幸いです。



①



②



③



④



⑤



- ① 絵はがき
「(上毛・大間々高津戸峡)
高津戸峡ヨリ赤城山ノ遠望」
昭和時代初期
- ② 足尾線沢入名勝絵はがき
(沢入の石材丁場)
大正時代後期～昭和時代初期
- ③ 絵はがき
「大間々ながめ遊園地大輪大菊花」
昭和30年代
- ④ 足尾鐵道沿線風景絵はがき
(第一渡良瀬鐵橋)
大正時代初期
- ⑤ 絵はがき
「鹿ノ川沼ノ景」
明治時代末期～大正時代初期

施設案内

みどり市大間々博物館 (コノドント館)
群馬県みどり市大間々町大間々1030
TEL. (0277) 73-4123
FAX. (0277) 73-4145

交通案内

- 【車】
北関東自動車道太田藪塚インターから25分
- 【電車】
- ・浅草～赤城
東武特急で1時間50分
 - ・上野～桐生
JRで約2時間
 - ・桐生～大間々
わたらせ渓谷鐵道で13分
(わたらせ渓谷鐵道大間々駅より徒歩5分)

案内図

